株式会社ピービー© http://www.pb-jp.com
〒731-0103 広島県広島市安佐南区緑井3-4-29
商品お問い合わせ先： 大阪オフィス support@pb-jp.com
〒561-0841 大阪府豊中市名神口3-7-3
TEL.06-6335-0805 FAX.06-6335-0807

CMMシリーズ

CMM-MBH8

取付・取扱説明書

販売店様へ
取り付け作業が完了しましたら、この取付・取扱説明書をお客様へお渡しください。

もくじ

構成部品・主な仕様 ・・・・・・・ P1
安全に正しくお使いいただくために接続するまえの準備 ・・・・・・・ P2
取付車種別の初期設定 ・・・・・・・ P3
純正システムの脱着要領 ・・・・・・・・ P4～P9
車両コードとの接続 ・・・・・・・・ P10,P11
ご使用方法について ・・・・・・・・・・・ P12
保証書 ・・・・・・・・・・・ P13

CMMシリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

取り付けの前に、この取付・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付け作業を行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となることがあります。

この取付・取扱説明書では別売りオプションキットの接続についても説明しています。詳しくは別売りオプションキットの取付・取扱説明書をご覧ください。

この取付・取扱説明書を読み終わったあとは、必ず保管してください。

この製品の取り付けには、専門技術と経験が必要です。必ずお買い上げの販売店で取り付けてください。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。この指示を守らなかった事による車両の故障または破損等につきましては、当社では一切の責任を負いません。ご了承ください。

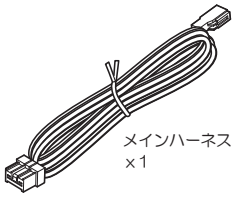
この製品は、運転者以外の同乗者がテレビを視聴するために開発された製品です。運転者が走行中にＡＶモニターを注視することは、事故、ケガの原因となると共に、道路交通法で禁止されています。同乗者がいないときは安全のため、車両情報やナビゲーションの映像などに切り替えてご使用ください。

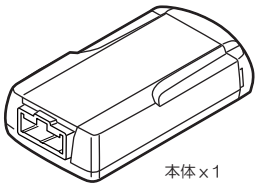
この製品は、安全に十分配慮して設計されています。しかし電気製品はすべて、まちがった使い方をすると事故や火災等の原因になります。動作がおかしかったり、異常、故障と思われる場合はすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店または当社へご連絡ください。

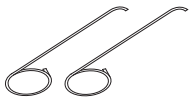
この説明書の指示を守らなかった事による事故、法律の違反、車両の故障または破損、製品の不具合等の賠償につきましては、当社では一切の責任を負いません。ご了承ください。

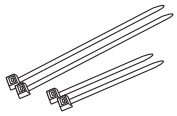
キット構成部品をご確認ください

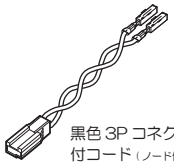
作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

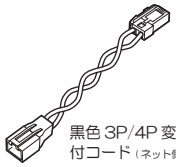

メインハーネス x１


本体 x１


エアコンルーバー取外し工具 x２

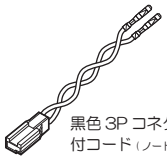

ナイロンバンド100mm x ２
ナイロンバンド200mm x ２

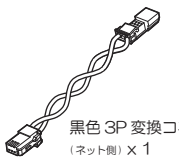

黒色 3P コネクター端子付コード（ノード側）x １


黒色 3P/4P 変換コネクター付コード（ネット側）x １

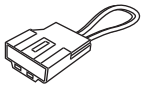
黒色 4P コネクター（ネット側）x １

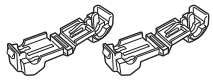
CMM-218 コネクター

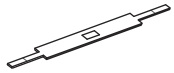

黒色 3P コネクター端子付コード（ノード側）x １


黒色 3P 変換コネクター（ネット側）x １

黒色 4P コネクター（ネット側）x １


ジャンパーコネクター x １


スコッチロック（青）x ２


コンタクトリムーブキー x １

主な仕様

【入力】

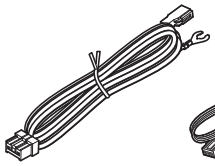
- **電源電圧** ・・・・・・・・・ DC12V マイナスアース

【その他】

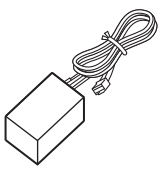
- **本体寸法** ・・・・・・・・・ 約 W42×H20×D80（突起部を除く）
- **動作時消費電流** ・・・・・・・・・ 約 65mA
- **待機時消費電流** ・・・・・・・・・ 約 0.15mA
- **交換用ヒューズ容量** ・・・・・・・・・ 1A（φ6x30管ヒューズ）

別売りオプションキット

CMM-RSC（RS コントローラーオプション）


拡張メインハーネス x１

LED内蔵切替スイッチ x１


RSコントローラー x１

青色 1P ハウジング x１

スリーブ付き平端子 x１

※ 本取付説明書に記載の内容は、調査時のデータに基づいて作成されています。調査後に車両変更、車種追加などで取付情報が変更になる場合がありますのでご注意ください。
※ 本取付説明書に記載の内容および仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。また本取付説明書の一部または全部を無断で転用・転載することを禁じます。
※ FOR SALE IN JAPAN ONLY

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。
その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

●本品はDC12V仕様以外の車での使用はしない。火災の原因となります。

●本品を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。

●車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することが無いよう注意して行う。火災の原因となります。

●車体のボルトやナットを使用して、機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や、発火、事故の原因となります。

●取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずす。プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

●機器を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。

●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

●取り付けた機器の音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

●エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に機器の取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。

●ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

●接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

●本品の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

●必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したりしっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

●雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多い場所への取り付けは避けてください。機器に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

●しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

●直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

●取付説明書で指定されたとおりに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

●エアバッグ装着車に取り付ける場合は車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

●車体のねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

●コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

●コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

●機器の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

●本品を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

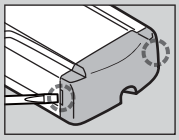
取付車種別の初期設定

☞ アドバイス

●取り付ける車種に合わせて必ず初期設定を行ってください。初期設定を行わずに接続すると本製品が正しく機能しません。工場出荷時はMBH8Aに設定してあります。
●旧型設定スイッチ（ピアノスイッチ型タイプ）の場合は、当社ホームページの商品詳細ページ「説明書（旧型設定スイッチ）」P3 “取付車種別の初期設定” をご覧ください。

1 CMM 本体のキャップを取り外す

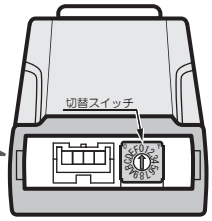
破線部分に細いマイナスドライバーを差し込み、キャップを手前に引き、取り外してください。



☞ アドバイス

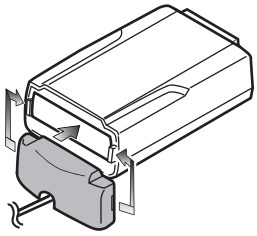
キャップを取り外すとき、キャップやケース、内部基板に無理な力を掛けたり傷付けないようご注意ください。

2 初期設定を行う



取り付ける車種に合わせて表を選び、取り付け車種別の設定スイッチ（0～F）を表示図のように切り替えてください。

3 作業後はキャップをもとに戻す



オプションのLED内蔵切替スイッチを取り付ける場合は、キャップ下側中央部の溝にコードを合わせながらもとに戻してください。

MBH81

スイッチ設定 1

グレード	型式	適応年式（西暦）	備考
Cクラス	CBA/DBA-204***	'07/06～'08/07	W204

メルセデスベンツ正規輸入車の日本仕様で、標準または、メーカーラインのHDDナビゲーションシステム装着車（一部取付できないグレードがあります。）
・セダンは運転席のSRSニーバッグ、パーキングアシストリアビューカメラが標準装着されていない車両。
・ステーションワゴンはSRSニーバッグが標準装着されていない車両。
※接続には、別売りのCMM-RSC（RSコントローラーオプション）が必要です。

☞ アドバイス

●純正システムの脱着については、この取付説明書の4ページをご覧ください。
●車両コードとの接続については、CMM-RSC（RSコントローラーオプション）に付属の取付説明書をご覧ください。

⚠ 注意

●CMM-RSC（RSコントローラーオプション）に付属の取付説明書を参照し、メインハーネスの接続作業を行ってください。

MBH8A

スイッチ設定 A

グレード	型式	適応年式（西暦）	備考
Aクラス※1	DBA-176***	'13/01～	W176
Bクラス※1・3	DBA-246***	'12/04～	W246
Cクラス※2	CBA/DBA/RBA-204***	'08/07～	W204
CLAクラス※3	CBA/DBA-117***	'13/07～	C117
CLSクラス※3	CBA/DBA/RBA-218***	'11/02～	C218
Eクラス※3	CBA/DBA-212*** LDA/RBA-212***	'09/05～	W212
Eクラスクーペ※3	CBA/DBA/RBA-207***	'09/07～	C207
Gクラス	ABA-463***	'12/08～	G463
GLクラス	CBA-166***	'13/04～	X166
GLAクラス	DBA-156***	'14/05～	X156
GLKクラス	CBA/RBA-204***	'08/10～	X204
Mクラス	CBA/RBA-166***	'12/06～	W166
SLクラス	CBA/RBA-231***	'12/05～	R231
SLS AMG	ABA-197377	'10/06～	C197
SLKクラス	DBA/MBA-172***	'11/07～	R172

メルセデスベンツ正規輸入車の日本仕様で、標準または、メーカーラインのHDDナビゲーションシステム装着車（一部取付できないグレードがあります。）
※1 A/Bクラスは、メルセデスベンツ正規輸入車の日本仕様で、標準または、メーカーラインのCOMANDシステム装着車（一部取付できないグレードがあります。）
※2 Cクラスは、運転席のSRSニーバッグが標準装着されている車両。
※3 Bクラス・CLAクラス '15/01～ / CLSクラス '14/10～ 8型ディスプレイ装着車及びEクラス/ Eクラスクーペ '15/05～ で車両側黒色40P光ファイバーコネクター 9茶、11茶/赤コードが無い車両への接続には、同梱のCMM-218コネクターを使用して接続します。

☞ アドバイス

●純正システムの脱着については、この取付説明書の4～9ページをご覧ください。
●車両コードとの接続については、この取付説明書の10～11ページをご覧ください。

取付・接続のしかた その１

⚠ 注意

●接続作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。ショートした場合、車両の故障・破損の原因になります。

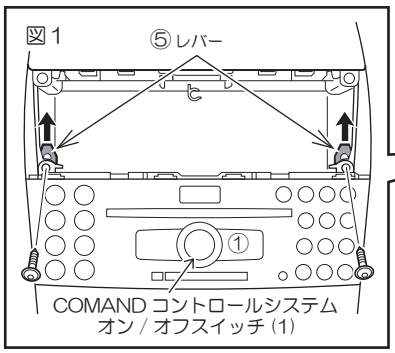
●取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。
また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

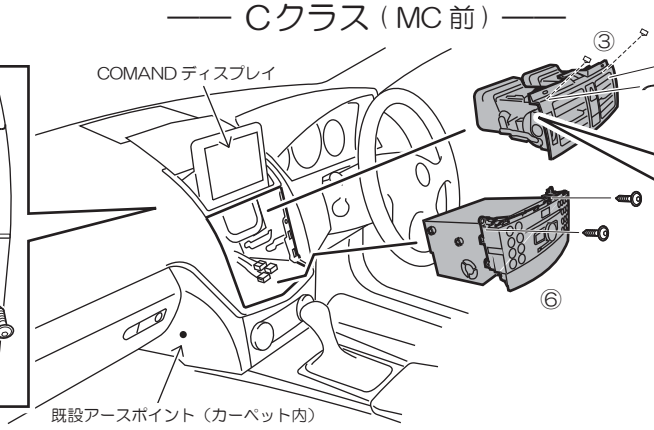
●車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

純正システムの脱着要領

―― Cクラス（MC 前）――

図１





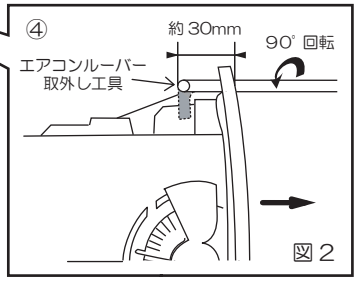


図２

① キーを差し込まない状態で、COMAND コントロールシステム オン / オフスイッチ (1) を押し、COMAND ディスプレイを展開させます。

② エンジンルーム内助手席側エアダクト下部のバッテリーのマイナス端子を外します。［バッテリー位置はこの取付説明書８ページ“取付概要図と電源コードの接続”参照］

③ エアコンルーバー上部左右にあるゴムキャップを取り外します。

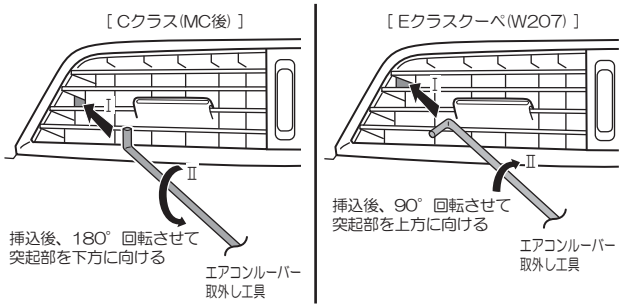
④ 図２を参照し、付属のエアコンルーバー取外し工具を約 30mm 差し込み、先端が下側にくるように 90° 回転させ、エアコンルーバーに引っ掛け手前に引き出し、コネクター類を外し、取り外します。

⑤ 図１を参照し、COMAND コントロールコンポーネント上部左右のビス２本を緩め、左右レバー（黒色）を引き上げロックを解除します。

⑥ COMAND コントロールコンポーネントを手前に一度引き、さらに持ち上げてから手前に引き出し、アンテナコネクター、オーディオコネクターを外し、取り外します。

―― Cクラス（MC 後）/Eクラスクーペ（C207）――

図１ ［ エアコンセンタールーバー正面図 ］



※図は左側です。右側も同様に作業してください。

図２［ エアコンセンタールーバー上面図 ］

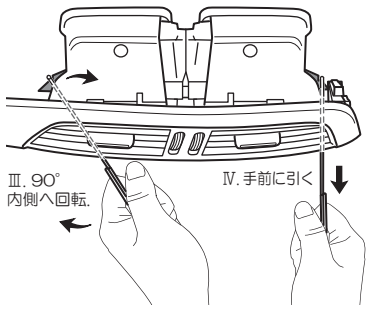
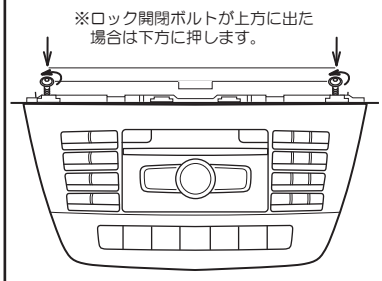
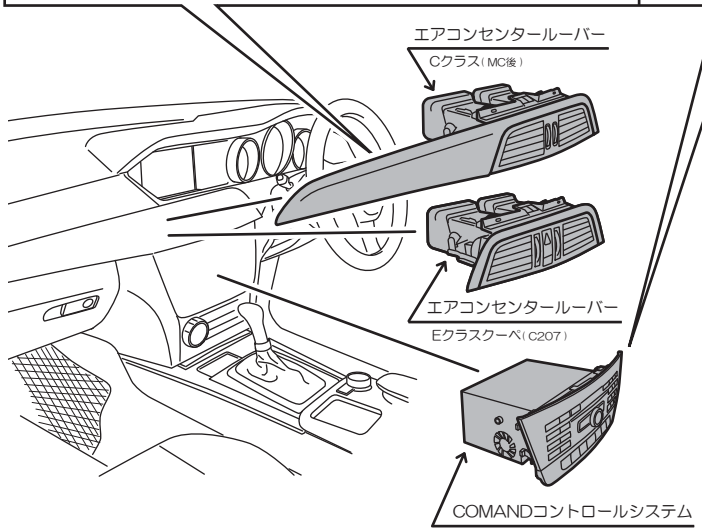


図３





① 図1を参照し、付属のエアコンルーバー取外し工具の突起部を上方に向けてセンタールーバーの左右切り込みに差し込み、エアコンルーバー取外し工具を180°回転させて突起部を下方に向け、エアコンルーバーの左右キャッチフックに引っ掛けます。

※ Eクラスクーペの場合、エアコンルーバー取外し工具の突起部を外側に向けてセンタールーバーの左右切り込みに差し込み、エアコンルーバー取外し工具を 90° 回転させて突起部を上方に向け、エアコンルーバーの左右キャッチフックに引っ掛けます。

② 図2を参照し、エアコンルーバー取外し工具の先端をエアコンルーバーの内側方向に約90° 回転させてエアコンルーバー取外し工具を引き、左右キャッチフックを解除し、コネクターを外し、取り外します。

③ 図3を参照し、ロックゲート開閉用ボルト2本を抵抗感があるまで、緩め、ロックを解除します。

※ ロックゲート開閉用ボルトが上方に出てきた場合は、下方に押します。
※ ロックゲート開閉用ボルトはコンソール側に残ります。

④ COMANDコントロールシステムを手前に引き出し、コネクター類を外し、取り外します。

取付・接続のしかた その１

⚠ 注意

●接続作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。ショートした場合、車両の故障・破損の原因になります。

●取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。
また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

●車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

純正システムの脱着要領

―― Aクラス / B クラス / CLA クラス / GLA クラス――

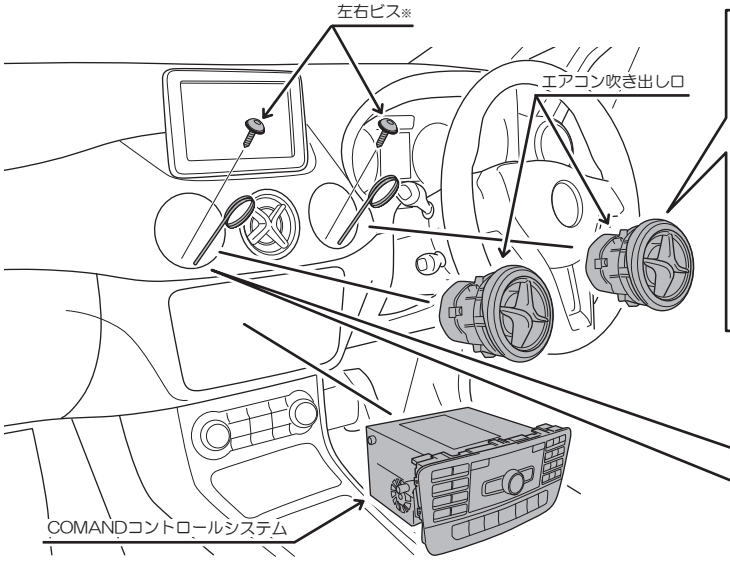
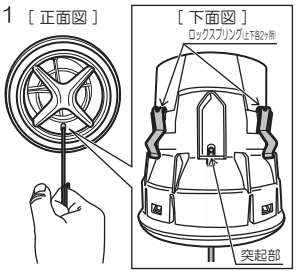
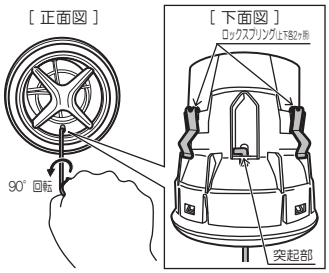


図１［正面図］［下面図］



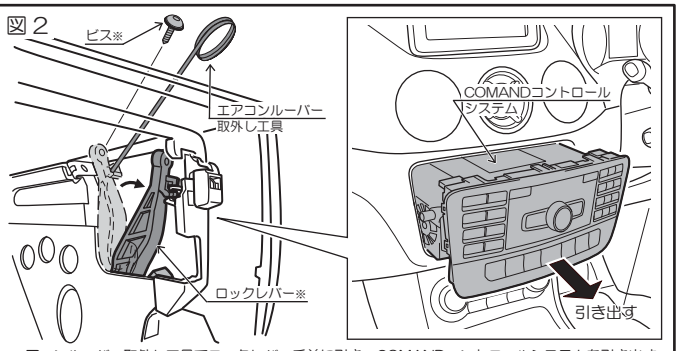
Ⅰ. エアコン吹出し口下側の切込みにエアコンルーバー取外し工具の突起部を挿し込む。

［正面図］［下面図］



Ⅱ. エアコンルーバー取外し工具を90°回転させて突起部を横に向けて固定し、手前に引き抜く。

図２



エアコンルーバー取外し工具でロックレバー手前に引き、COMANDコントロールシステムを引き出す。

① 図１を参照し、付属のエアコンルーバー取外し工具の突起部を下方に向けてエアコン吹き出し口の切り込みに差し込み、エアコンルーバー取外し工具を 90° 回転させて取外し工具が外れないようにエアコン吹き出し口を手前に引き抜きます。

② 図２を参照し、エアコン吹き出し口取付け部下側の左右ビス２本を緩めます。左右ビス２本を締付けていたロックレバーの切り込み穴にエアコンルーバー取外し工具の突起部を差し込んで手前に引き、COMAND コントロールシステムを手前に引き出し、コネクター類を外し、取り外します。

※ 車種、グレードによっては、左右ビス２本を取り外せない場合があります。外れない場合は、左右ビス２本を緩めてからロックレバーを手前に引いてください。
※ 組み付け時、ロックレバー（左右各１ヶ所）の位置が手前になっていることを確認してから組み付けてください。

―― E クラス（W212）――

図３ ③エアコンセンタールーバー上面

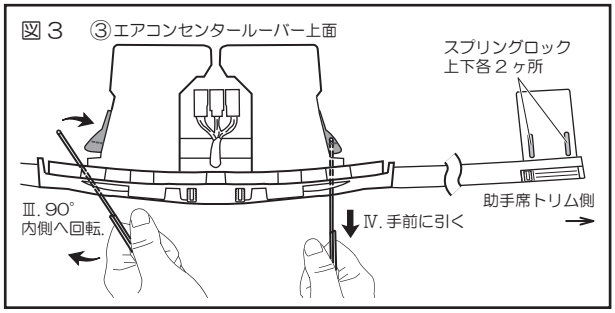
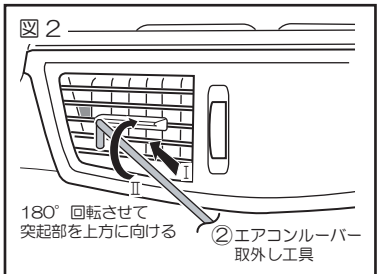
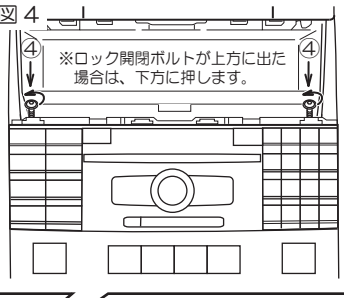


図２



※図は左側です。右側も同様に作業してください。

図４



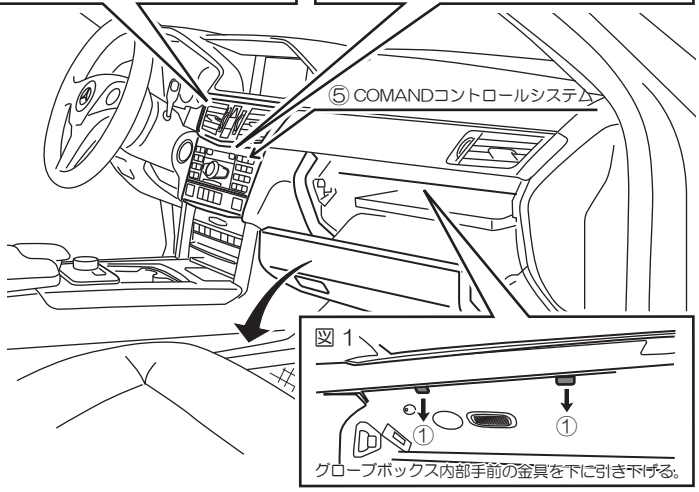


図１

グローブボックス内部手前の金具を下に引き下げる。

① 図1を参照し、グローブボックスを開き、クリップ2個を下方へ引っ張ります。

② 図2を参照し、付属のエアコンルーバー取外し工具の突起部を下方に向けてセンタールーバーの左右切り込みに差し込み、エアコンルーバー取外し工具を180°回転させて突起部を上方に向け、エアコンルーバーの左右キャッチフックに引っ掛けます。

③ 図3を参照し、エアコンルーバー取外し工具の先端をエアコンルーバーの内側方向に約90°回転させてエアコンルーバー取外し工具を引き、左右キャッチフックを解除し、助手席トリムを手前に引き、コネクターを外し、取り外します。

④ 図4を参照し、ロックゲート開閉用ボルト2本を抵抗感があるまで、緩め、ロックを解除します。

※ ロックゲート開閉用ボルトが上方に出てきた場合は、下方に押します。
※ ロックゲート開閉用ボルトはコンソール側に残ります。

⑤ COMANDコントロールシステムを手前に引き出し、コネクター類を外し、取り外します。

取付・接続のしかた その１

⚠ 注意

●接続作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。ショートした場合、車両の故障・破損の原因になります。

●取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。
また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

●車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

純正システムの脱着要領

── CLS クラス ──

図２

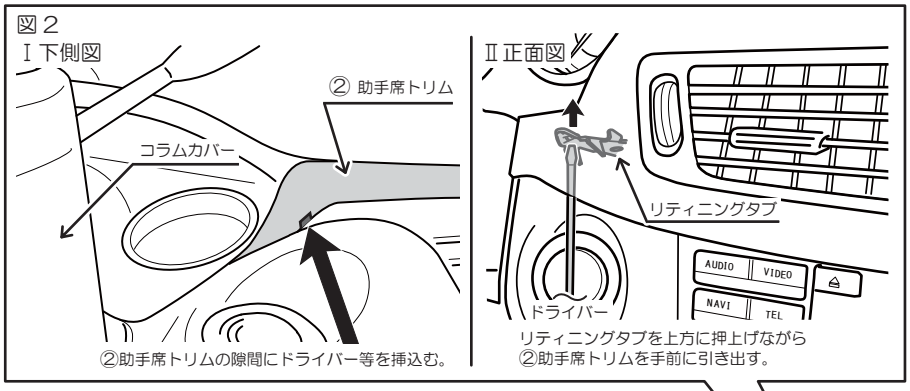
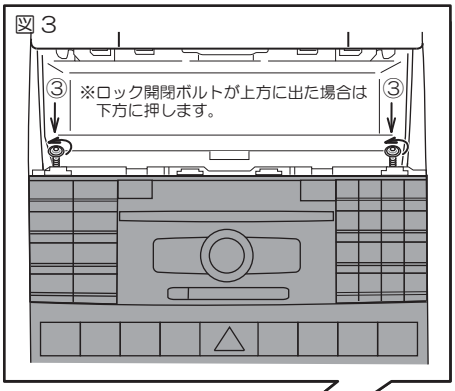


図３



① 図１を参照し、グローブボックスを開きます。助手席側サイドトリムパネルを取り外し、指示位置のビス２本を取り外します。

※ CLS クラス（MC 後）‘14y10 ～は、ディスプレイユニット裏側のメクラカバー２ヶ所を開いて指示位置のビス２本を取り外し、ディスプレイユニットのコネクターを外し、取り外します。

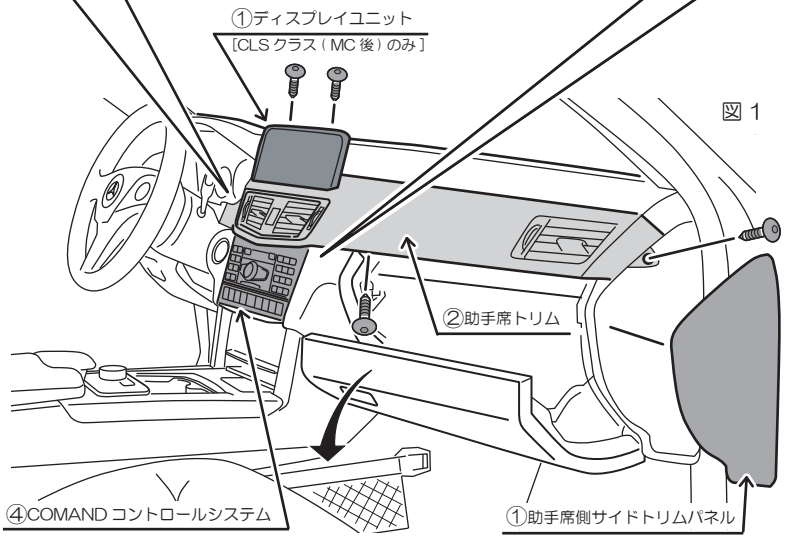
② 図２を参照し、指示位置にΦ3mm 以下のドライバー等（長さは 55mm 以上）を挿し込み、リティニングタブを上に押し上げてロックを解除し、助手席トリムを手前に引き、コネクターを外し、取り外します。

③ 図３を参照し、ロックゲート開閉用ボルト２本を抵抗感があるまで、緩め、ロックを解除します。

※ ロックゲート開閉用ボルトが上方に出てきた場合は、下方に押します。
※ ロックゲート開閉用ボルトはコンソール側に残ります。

④ COMAND コントロールシステムを手前に引き出し、コネクター類を外し、取り外します。

図１



── SLK クラス ──

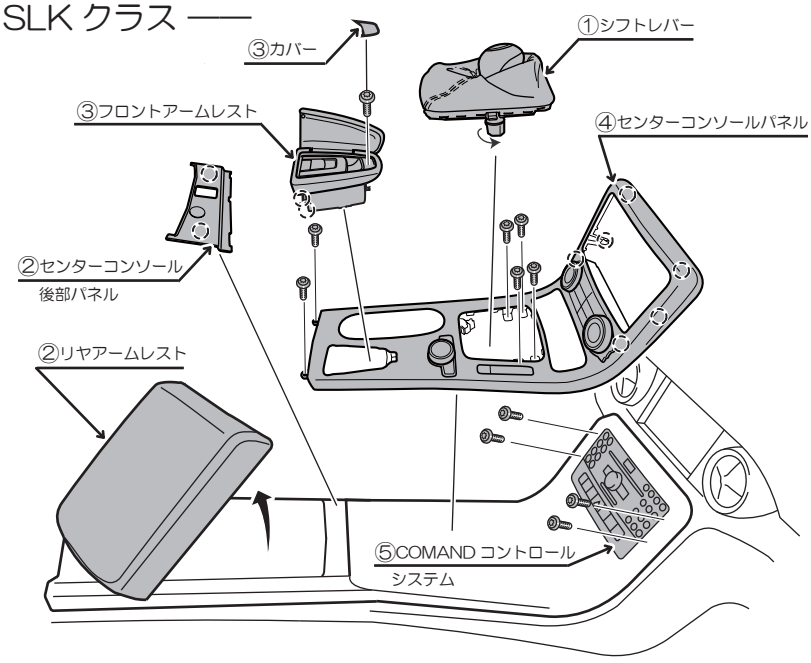
① シフトブーツを上方向に引き上げ、シフトレバー下部の固定リングを解除し、シフトノブ及びシフトブーツを取り外します。

② リヤアームレストをオープンにし、センターコンソール後部パネルを取り外します。（フック ◌ 印２ヶ所）

③ フロントアームレストのカバーを外し、ビス１本を緩め、取り外します。（フック ◌ 印２ヶ所）

④ センターコンソールパネルのビス６本を緩め、取り外します。（フック ◌ 印６ヶ所）

⑤ COMAND コントロールシステムのビス４本を緩め、コネクター類を外し、取り外します。



取付・接続のしかた その1

⚠ 注意

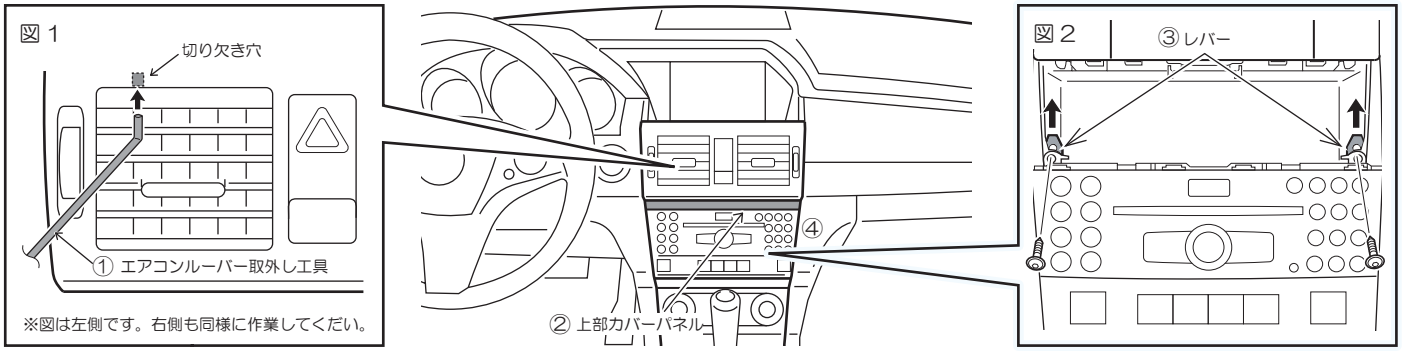
●接続作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。ショートした場合、車両の故障・破損の原因になります。

●取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。
また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

●車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

純正システムの脱着要領

―― GLK クラス（MC 前）――



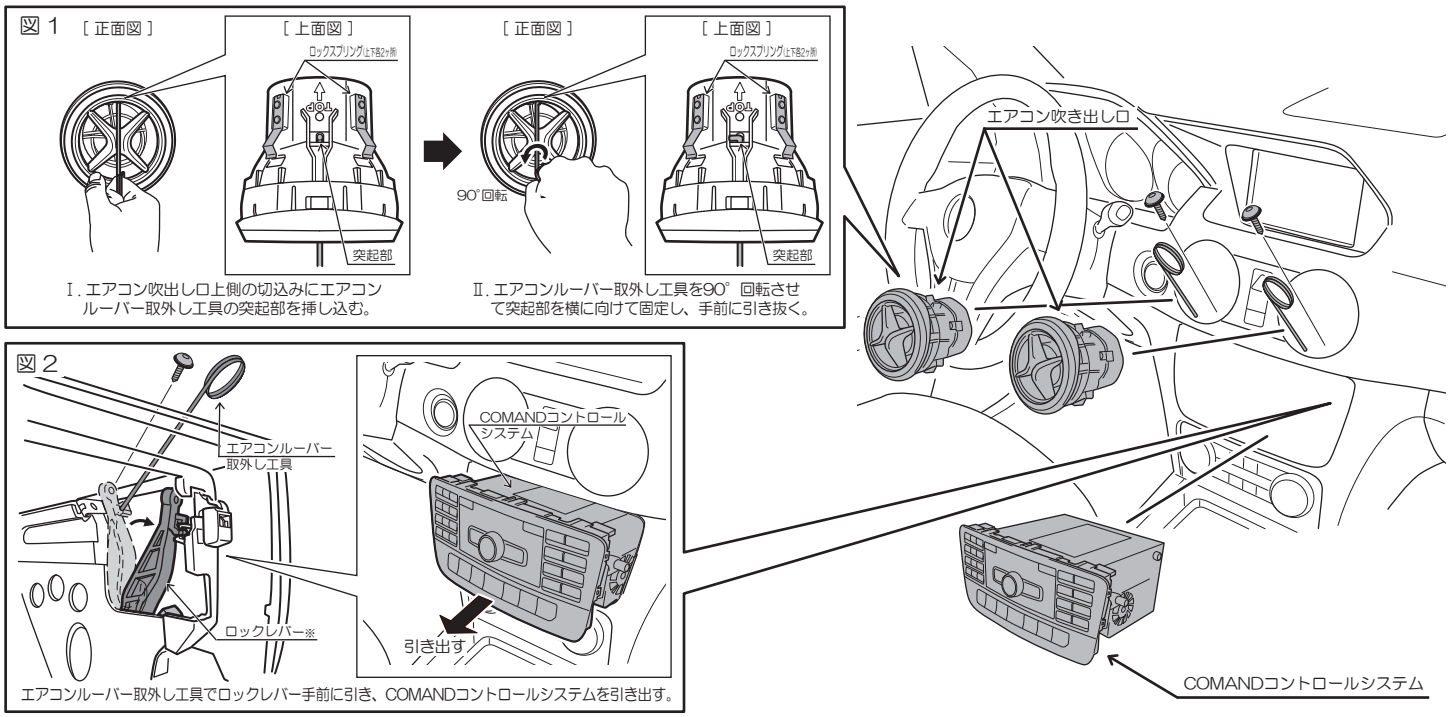
① 図 1 を参照し、エアコンルーバー上部左右の切り欠き穴に付属のエアコンルーバー取り外し工具を差し込み、手前に引き出し、コネクターを外し、取り外します。
※ エアコンルーバーを手前に引き出す際、エアコンルーバー取り外し工具が外れやすいので注意してください。

② COMAND コントロールコンポーネント上部のカバーパネルを取り外します。

③ 図 2 を参照し、COMAND コントロールコンポーネント上部左右のビス 2 本を緩め、左右レバー（黒色）を引き上げロックを解除します。

④ COMAND コントロールコンポーネントを手前に一度引き、さらに持ち上げてから手前に引き出し、アンテナコネクター、オーディオコネクターを外し、取り外します。

―― GLK クラス（MC 後）――



① 図 1 を参照し、付属のエアコンルーバー取外し工具の突起部を上方に向けてエアコン吹き出し口の切り込みに差し込み、エアコンルーバー取外し工具を 90° 回転させて取外し工具が外れないようにし、エアコン吹き出し口を手前に引き抜きます。

② 図 2 を参照し、エアコン吹き出し口取付け部下側の左右ビス 2 本を緩めます。左右ビス 2 本を締付けていたロックレバーの切り込み穴にエアコンルーバー取外し工具の突起部を差し込んで手前に引き、COMAND コントロールシステムを手前に引き出し、コネクター類を外し、取り外します。

※ 組み付け時、ロックレバー（左右各 1 ヶ所）の位置が手前になっていることを確認してから組み付けてください。

取付・接続のしかた その１

⚠ 注意

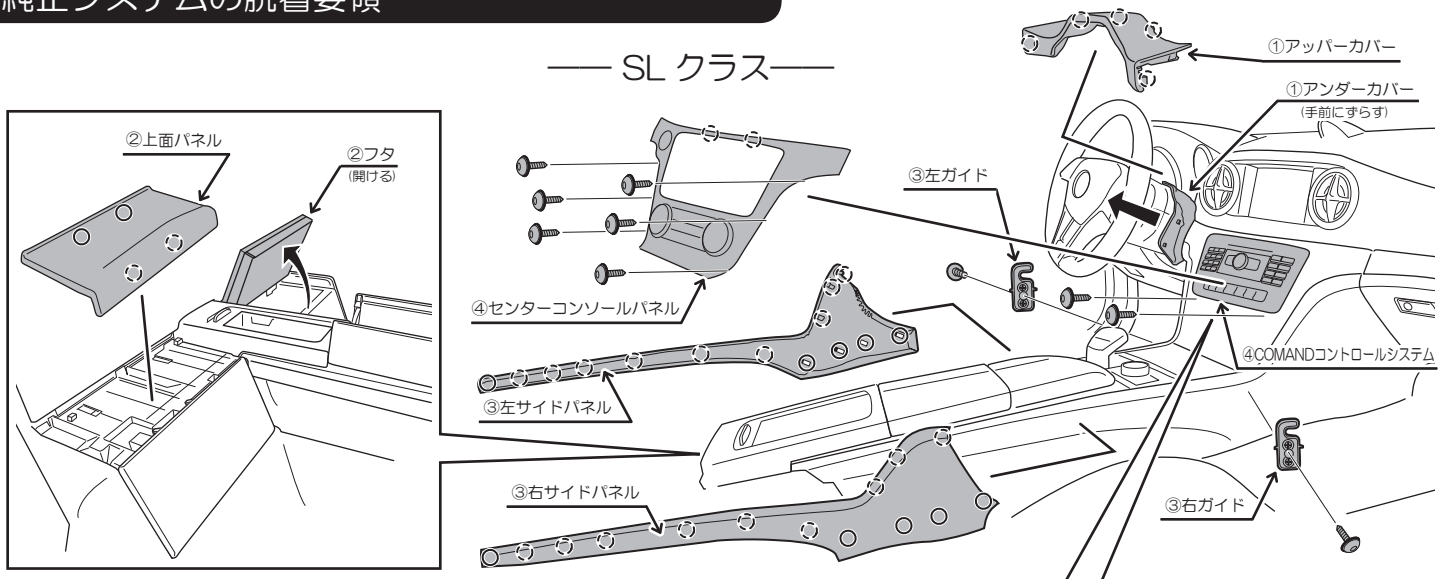
●接続作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。ショートした場合、車両の故障・破損の原因になります。

●取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。
また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

●車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

純正システムの脱着要領

―― SL クラス――



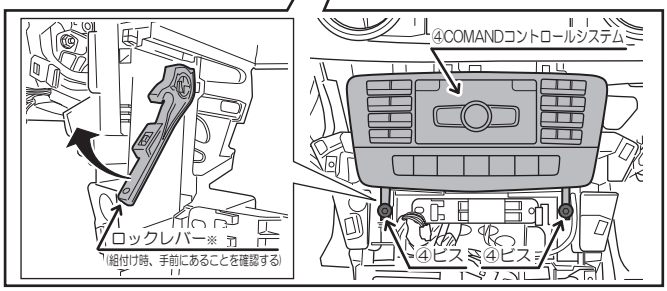
① 運転席コラムカバー奥のアッパーカバー（ツメ ◌ 印５ヶ所）を手前に引いて取り外し、アンダーカバーを手前にずらします。

② 左リヤ収納ボックスのフタを開け、右リヤヒューズボックスの上面パネル（フック ○ 印２ヶ所＋勘合クリップ ◌ 印２ヶ所）を取り外します。

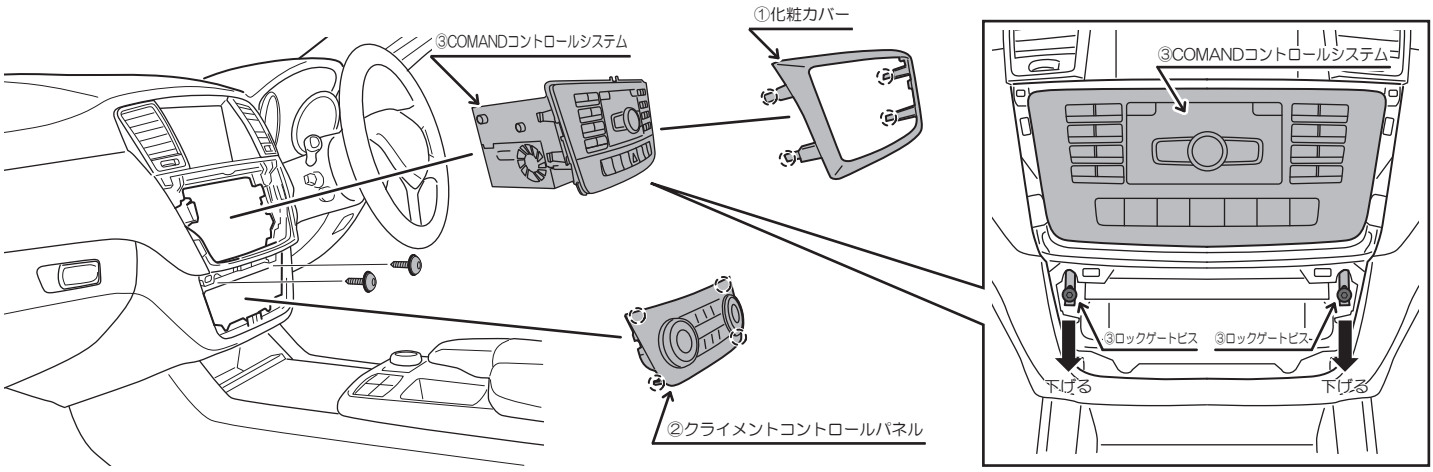
③ 左右サイドパネル（フック ○ 印 各５ヶ所＋勘合クリップ ◌ 印 各９ヶ所）を取り外し、センターコンソールパネルを固定している左右ガイドのビス各１本を緩め、取り外します。

④ 灰皿のフタをオープンにします。センターコンソールパネルのビス６本を緩め、パネル上部（ツメ ◌ 印２ヶ所）から手前に引いて取り外します。COMAND コントロールシステムのビス２本を緩め、コネクター類を外し、取り外します。

※ 組み付け時、ロックレバー（左右各１ヶ所）の位置が手前になっていることを確認してから組み付けてください。



―― M クラス / GL クラス――



① COMAND コントロールシステムの化粧カバー（勘合クリップ ◌ 印４ヶ所）を取り外します。

② クライメントコントロールパネル（勘合クリップ ◌ 印４ヶ所）を取り外します。

③ COMAND コントロールシステムのロックゲートのビス２本を緩め、ロックゲートを下げて解除し、コネクター類を外し、取り外します。

※ COMAND コントロールシステムは、ユニット側のロックボスと、コンソール側のロックゲートで構成されるロック機構によって固定されています。

取付・接続のしかた その１

⚠ 注意

●接続作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を必ず外して、配線作業をしてください。ショートした場合、車両の故障・破損の原因になります。

●取り外し、取り付けの際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。
また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

●車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

純正システムの脱着要領

── SLS AMG ──

① 小物入れを開け、ビス２本を緩めます。

② リヤアームレストを後方にスライドさせ、ドリンクホルダーのインナーシートを取り外し、ビス２本を緩めます。

③ フロントアームレストの後部を持ち上げ、取り外します。（フック〇印１ヶ所、ツメ◌印２ヶ所）

④ フロントアームレストホルダーのビス２本を緩め、取り外します。

⑤ リヤアームレスト前部のビス２本を緩めます。

⑥ リヤアームレスト前部から持ち上げ、コネクターを外し、小物入れ Assy を取り外します。

⑦ センターコンソールパネル後部のビス２本を緩めます。

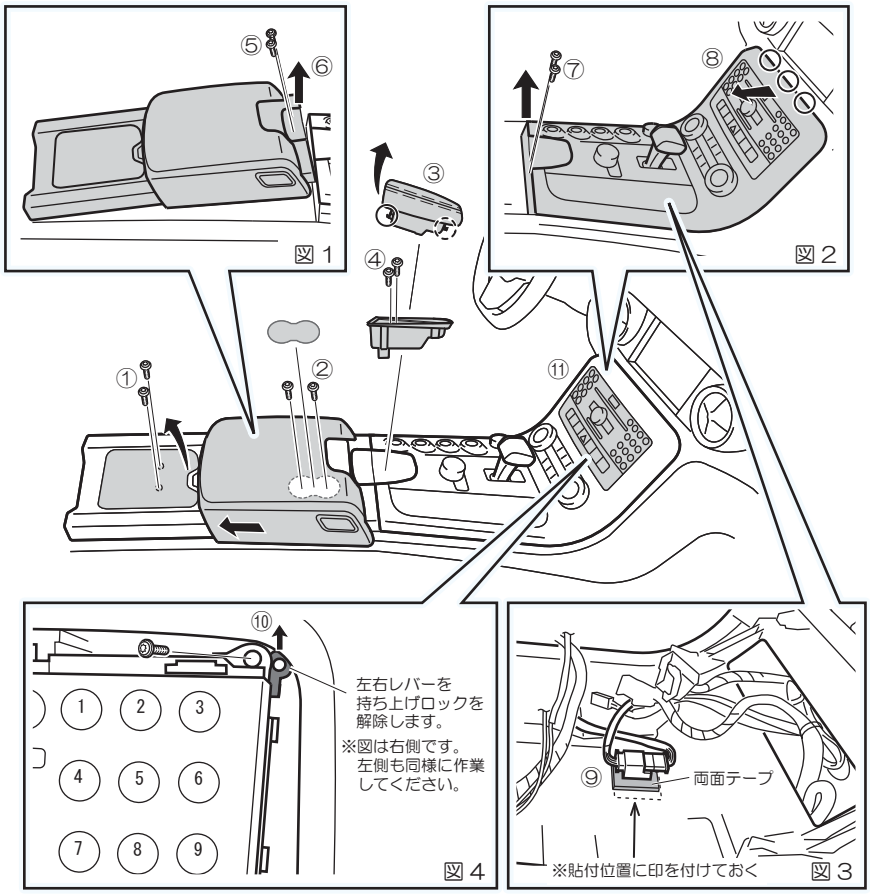
⑧ 図２を参照し、センターコンソールパネル後方を持ち上げ、引きます。（フック〇印３ヶ所）

⑨ 図３を参照し、センターコンソールパネルに接続されているホルダー付コネクターの位置をマーキングしてから両面テープを剥がし、コネクター類を外してセンターコンソールパネルを取り外します。

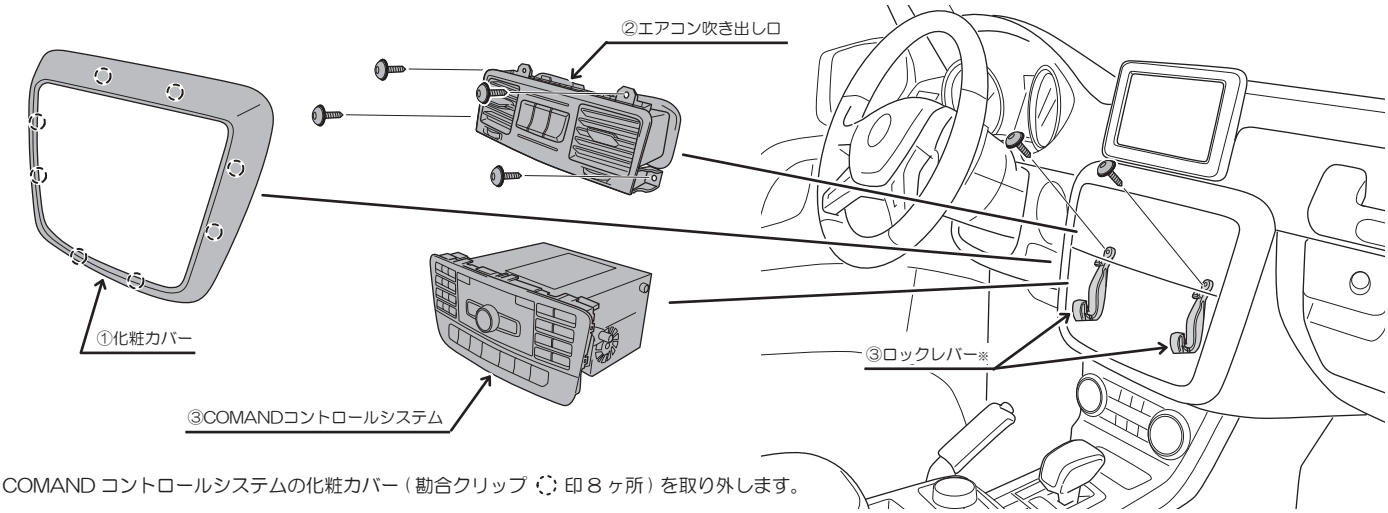
※ ホルダー付コネクターの位置がずれるとセンターコンソールパネルが取り付け出来ない場合がありますので、ご注意ください。

⑩ 図４を参照し、COMAND コントロールコンポーネント上部左右のビス２本を緩め、左右レバーをマイナスドライバーで引き上げロックを解除します。

⑪ COMAND コントロールコンポーネント手前に引き、アンテナコネクター、オーディオコネクターを外し、取り外します。



── G クラス ──



① COMAND コントロールシステムの化粧カバー（勘合クリップ ◌印８ヶ所）を取り外します。

② エアコン吹き出し口のビス４本を緩め、コネクター類を外し、取り外します。

③ COMAND コントロールシステムを固定しているロックレバーのビス２本を緩め、COMAND コントロールシステムを手前に引き出し、コネクター類を外し、取り外します。

※ 組み付け時、ロックレバー（左右各１ヶ所）の位置が手前になっていることを確認してから組み付けてください。

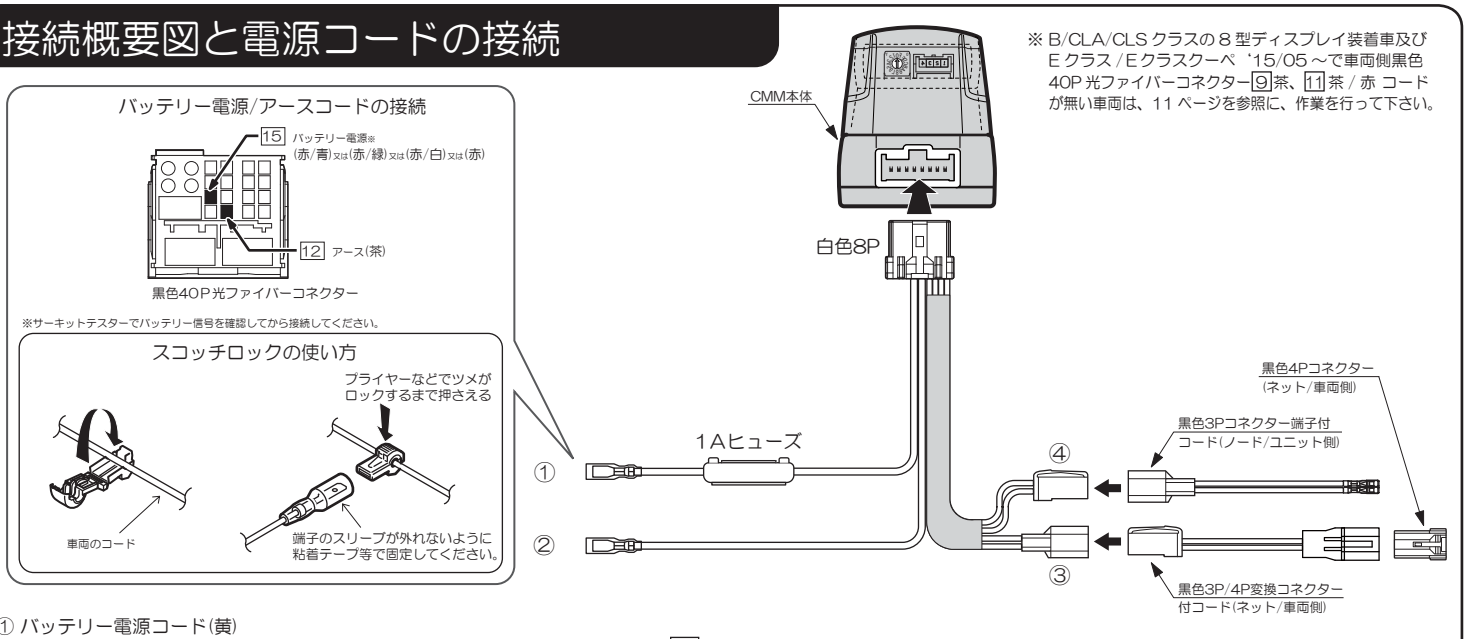
取付・接続のしかた その２

⚠ 注意

●光ファイバーコードを傷つけたり、折り曲げたりして損傷しないよう、配線作業をしてください。損傷した場合、車両の故障・破損の原因になります。

●CMM本体と白色8Pコネクターの接続は、他のすべての接続が終わってから、バッテリーをつなぐ直前に行ってください。

接続概要図と電源コードの接続



① バッテリー電源コード(黄)
COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクターの 15 バッテリー電源コード(赤/青)または(赤/緑)または(赤/白)または(赤)に付属のスコッチロック(青)を使用して接続します。[上図参照]

② アースコード(黒)
COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクターの 12 アースコード(茶)に付属のスコッチロック(青)を使用して接続します。[上図参照]

③ 黒色3Pコネクター(ネット/車両側)
付属の黒色3P/4P変換コネクター付コード(ネット/車両側)と黒色4Pコネクター(ネット/車両側)に接続し、COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクター内の既設配線に接続します。[詳しくは下図“取付概要図と車両コードとの接続”をご覧ください]

④ 黒色3Pコネクター(ノード/ユニット側)
付属の黒色3Pコネクター端子付コード(ノード/ユニット側)と接続し、COMANDコントロールコンポーネントの黒色40P光ファイバーコネクター内に差し込みます。
[詳しくは下図“取付概要図と車両コードとの接続”をご覧ください]

取付概要図と車両コードとの接続

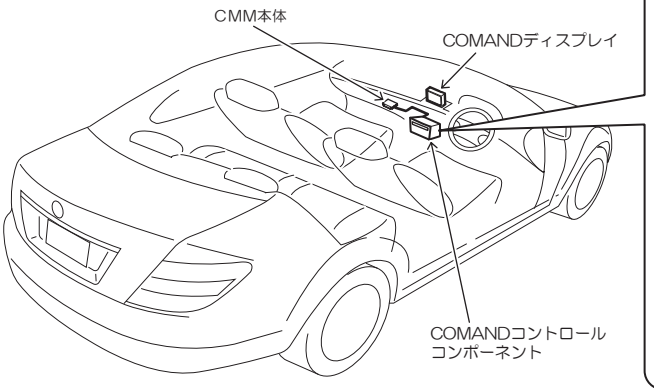
① 図１・2を参照し、COMANDコントロールコンポーネント黒色40P光ファイバーコネクターからホルダーを外し、9 番の茶コードと 11 番の茶/赤コードをコネクターから抜きます。
抜いたコードを付属の黒色4Pコネクター(ネット/車両側)の指示位置に差し込みます。

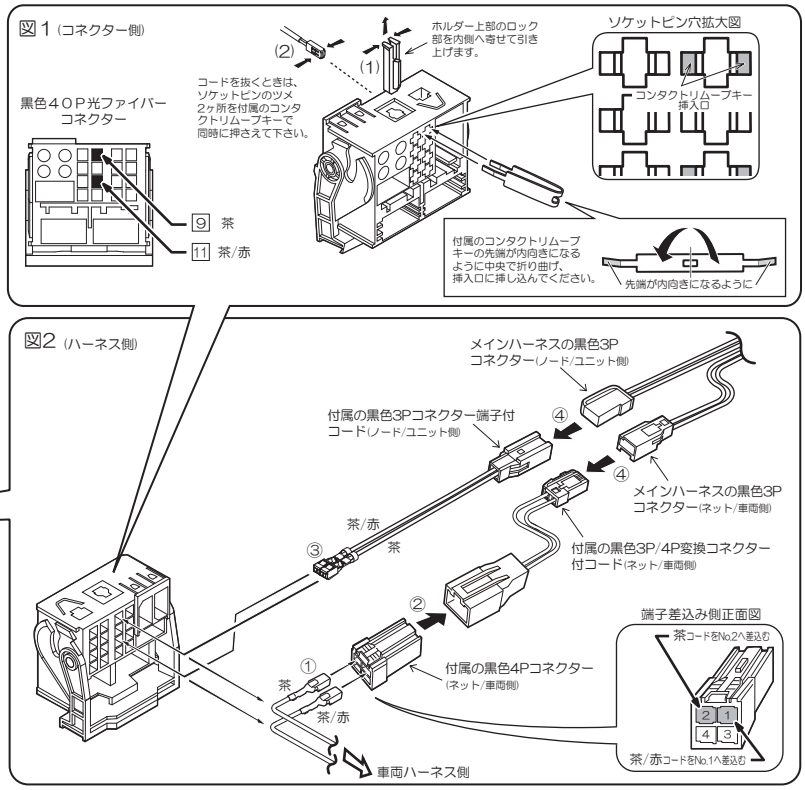
② 黒色4Pコネクター(ネット/車両側)を付属の黒色3P/4P変換コネクター付コード(ネット/車両側)に差し込みます。

※ コネクター差し込み後、茶コードは茶コードと、茶/赤コードは茶/赤コードと接続されていることを確認してください。

③ 手順①で抜いたコードの入っていた同じ配線色の位置[図2参照]に付属の黒色3Pコネクター端子付コード(ノード/ユニット側)２本を差し込みます。
入れ替えが終わったらホルダーを元通り差し込みます。

④ 各コネクターとメインハーネスからの黒色3Pコネクターを接続します。





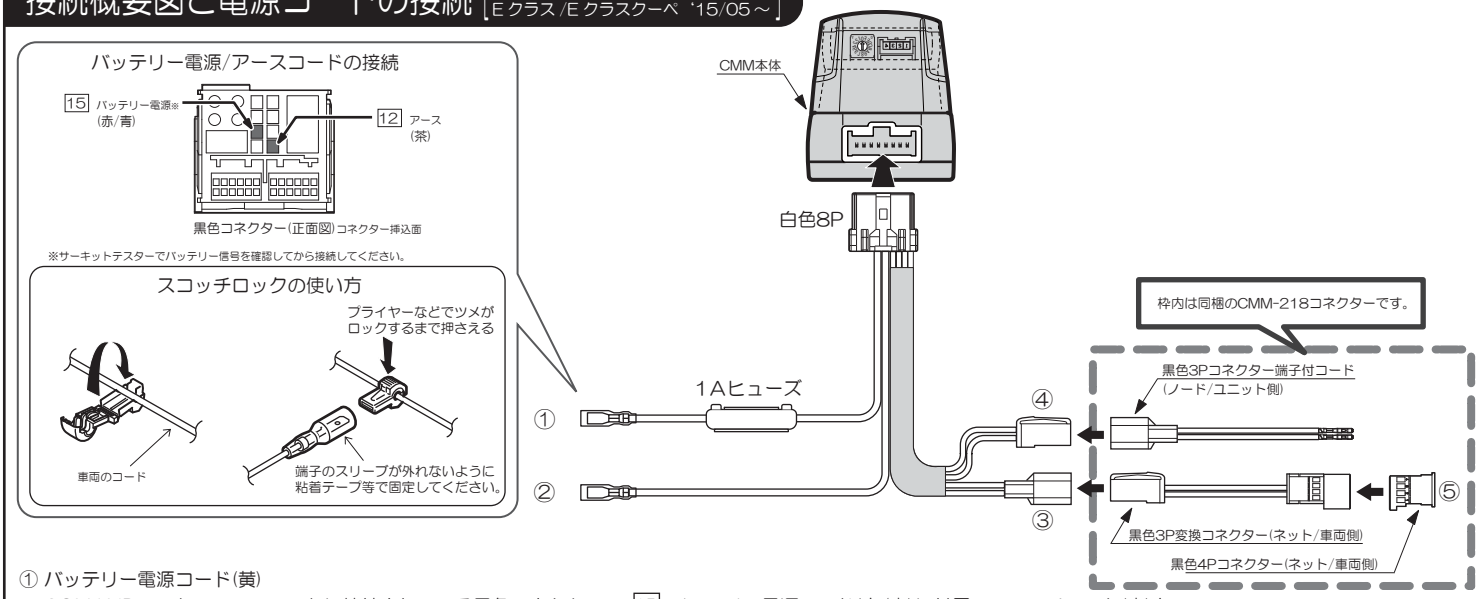
取付・接続のしかた その2 [B/CLA/CLS 8型ディスプレイ装着車 Eクラス/Eクラスクーペ '15/05～]

⚠ 注意

●光ファイバーコードを傷つけたり、折り曲げたりして損傷しないよう、配線作業をしてください。損傷した場合、車両の故障・破損の原因になります。

●CMM本体と白色8Pコネクターの接続は、他のすべての接続が終わってから、バッテリーをつなぐ直前に行ってください。

接続概要図と電源コードの接続 [B/CLA/CLS 8型ディスプレイ装着車 Eクラス/Eクラスクーペ '15/05～]



① バッテリー電源コード(黄)
COMANDコントロールユニットに接続されている黒色コネクターの 15 バッテリー電源コード(赤/青)に付属のスコッチロック(青)を使用して接続します。[上図参照] ※ サーキットテスターでバッテリー信号を確認してから接続してください。

② アースコード(黒)
COMANDコントロールユニットに接続されている黒色コネクターの 12 アースコード(茶)に付属のスコッチロック(青)を使用して接続します。[上図参照]

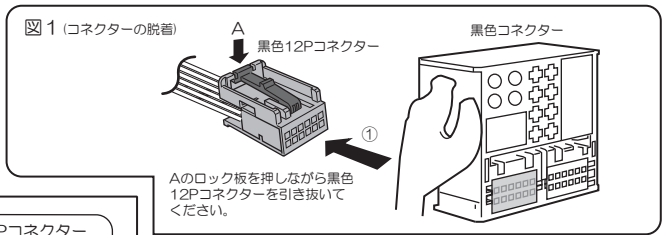
③ 黒色3Pコネクター(ネット/車両側)
付属の黒色3P変換コネクター(ネット/車両側)と⑤黒色4Pコネクター(ネット/車両側)を接続します。

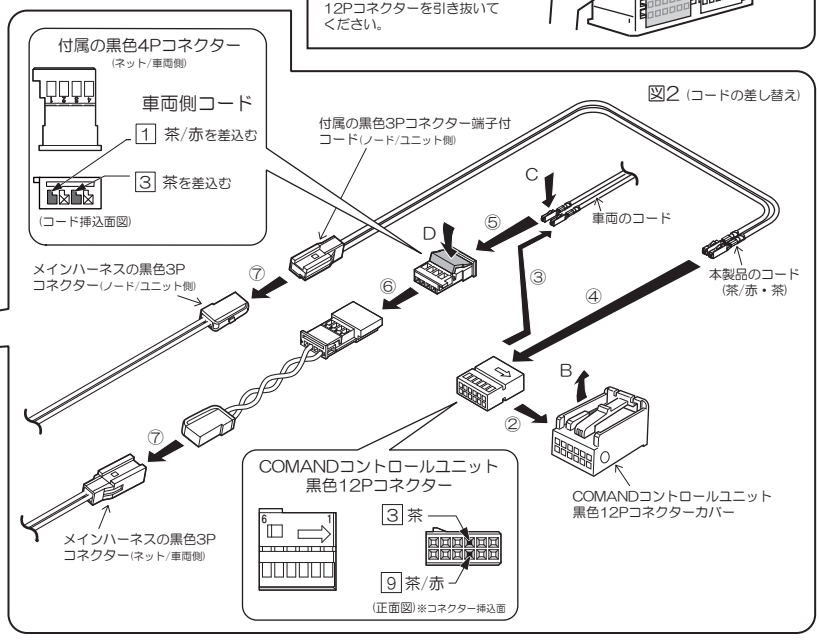
④ 黒色3Pコネクター(ノード/ユニット側)
付属の黒色3Pコネクター端子付コード(ノード/ユニット側)と接続し、COMANDコントロールユニット黒色12Pコネクター内に差し込みます。
[詳しくは下図“取付概要図と車両コードとの接続”をご覧ください]

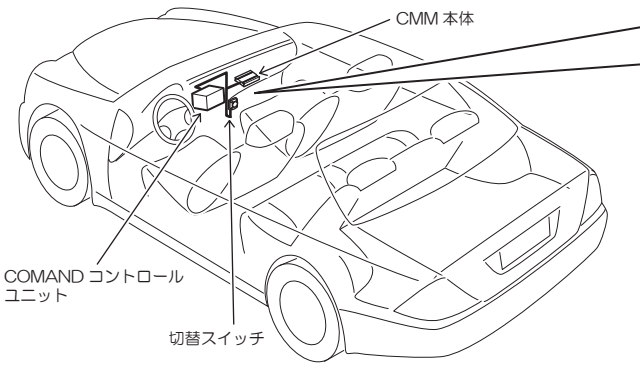
⑤ 黒色4Pコネクター(ネット/車両側)
COMANDコントロールユニットに接続されている車両の既設配線(黒色12Pコネクター内)を接続します。[詳しくは下図“取付概要図と車両コードとの接続”をご覧ください]

取付概要図と車両コードとの接続 [B/CLA/CLS 8型ディスプレイ装着車 Eクラス/Eクラスクーペ '15/05～]

① 図1を参照し、黒色コネクターに差し込まれている黒色12Pコネクターをコネクターから抜きます。
② 図2を参照し、①で取り外した黒色12Pコネクター【B】のツメを押し上げ、コネクターカバーを取り外します。
③ 各ソケットピンのツメ【C】を先の細いマイナスドライバーなどで押さえながら、車両のコード2本[端子番号とコード色は図を参照]をコネクターから抜きます。
④ ③で外した車両のコードが入っていた同じ配線色の位置[図を参照]に、付属の黒色3Pコネクター端子付コード(ノード/ユニット側)2本を差し込みます。入れ替えが終わったらコネクターカバーを元通り組み付け、COMANDコントロールユニットに取り付けます。
⑤ ③で外した車両のコードを付属の黒色4Pコネクター(ネット/車両側)に差し込み、【D】のロック板を押し込みます。
⑥ 付属の黒色4Pコネクター(ネット/車両側)を黒色3P変換コネクター(ネット/車両側)に接続します。
⑦ 各コネクターとメインハーネスからの黒色3Pコネクターを接続します。







ご使用について

ご使用方法

［MBH81 設定］

① 乗車時には、自動でモード切替スイッチのランプが赤色に点灯し、システムが起動します。
この状態のときは“ノーマルモード”で、純正システムと同じ(映像制限が解除されない)動作をします。
② モード切替スイッチのボタンを押すとランプが緑色の点灯になります。
この状態のときは“ＴＶモード”で、映像制限が解除されます。
走行時にＴＶやＤＶＤビデオの映像を映すときは、緑色の点灯状態にしてご使用下さい。
③ 降車時にはしばらくすると、自動でモード切替スイッチのランプが消灯し、システムがＯＦＦになります。

［MBH8A 設定］

本製品を取り付けすると乗車時には、自動でシステムが“TVモード”になり、映像制限が解除されます。

※本製品は、TVモード時に、ナビゲーション(オーディオ)システムへ車両停止信号を送信します。
このために、車速信号に感応して動作する機能(車速感応ボリューム、車速感応シート調整、カメラ切り替えなど)が一部、使用できない場合があります。
(本製品は、車速感応式パワーステアリングなどのパワートレイン系には、影響を与えません。)

カーナビゲーション使用時のご注意［MBH81 設定］

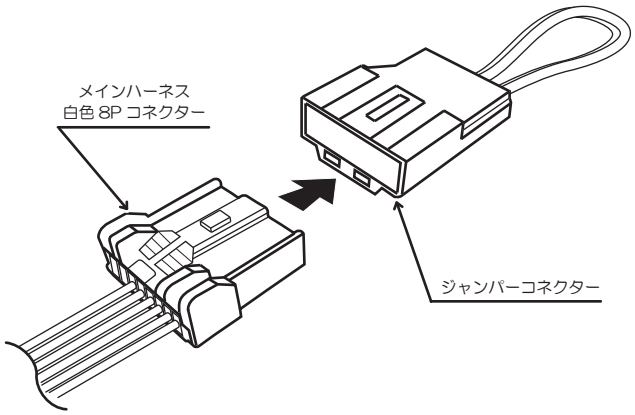
“ＴＶモード”(緑色の点灯状態)のとき、カーナビゲーションは機能しません。
切り替えが行われた地点で地図表示が止まったままになり、行き先設定をしてもルート案内は行われません。
また、“ＴＶモード”から“ノーマルモード”へ切り替えを行ったとき、現在地と地図表示が一致しませんが、しばらく走行すると自動的に一致します。その際、“ＴＶモード”での走行時間や走行距離、ＧＰＳ衛星の受信状態によっては、一致するまでの時間が長くかかる場合があります。

CMM 本体の動作チェックについて

付属のジャンパーコネクター(自己診断テスター用コネクター)は、メインハーネスにＣＭＭ本体と差し替えて装着するとオリジナル配線と同じ状態にバイパスされます。[図を参照]
本製品の取り付け時、ＣＭＭ本体をメインハーネスにつなぐ前に、このジャンパーコネクターを装着してから動作チェックを行うと、配線の誤りが無い事を確認できます。また、このコネクターは、正規ディーラーにて自己診断テスターを使用するサービスを受ける際に必要になります。正規ディーラーにて自己診断テスターを使用するサービスを受ける際は必ずジャンパーコネクターを装着してください。

☞ アドバイス

●正規ディーラーにてナビゲーションのバージョンアップまたは故障修理を受ける際は、付属のジャンパーコネクターを接続してください。



無 料 修 理 保 証 書

保証規定（必ずお読みください）

1. 保証の発効	本保証書はお買い上げいただいた販売店が必要事項を記入、捺印することにより有効となります。
2. 保証の内容	当社純正の下記商品に材料、または製造上の不具合が発生した場合、本保証書に示す期間と条件に従って無償修理（以下、これを保証修理といいます。）いたします。 保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。尚、取り外した不具合部品は当社の保有とします。
3. 保証期間	お買い上げ日をご使用開始日として起算し2年、または当社出荷日から起算し2年6ヶ月のどちらか早く到達する日。
4. 保証修理の受け方	保証修理をお受けになる場合は、お買い上げいただいた販売店にお持ちいただき、本保証書をご提示の上、保証修理をお申し付けください。本保証書をご提示されない場合は、保証修理をお受けいたしかねます。 保証修理の対象商品を当社へ送付した場合の費用は、お客様の負担となります。 出張修理を行った場合の費用はお客様の負担となります。 保証修理の対象商品の取り外し、または取り付けを行った場合の費用はお客様の負担となります。 尚、商品を使用できなかったことによる不便さ、及び損失についての費用は負担いたしません。
5. 保証を適用しない事項	保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。 （1）.当社が指定した以外の取り付けや、改造を行った場合。 （2）.取扱説明書に示す取り扱い方法と異なるご使用上の誤り、及びお客様の保守、整備の不備による場合。 （3）.故障の原因が当社商品以外に起因する場合。 （4）.業務用の長時間使用や、一般車両以外に使用された場合。 （5）.お買い上げいただいた販売店や当社指定店以外で、取り付けや修理をされた場合。 （6）.地震・台風・水害・落雷などの天災や、事故・火災・異常電圧などによる場合。 （7）.消耗部品（ランプ・ヒューズなど）とその交換、清掃。 （8）.一般的に認められる機能に影響の無い自然退色、傷、変形など。 （9）.本保証書にお買い上げ日、お客様情報、車両情報、販売店情報の記入が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
6. 保証の適用	本保証書は日本国内においてのみ有効です。 （This warranty is valid in Japan.）
7. その他	本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

販売店様ご記入欄

1.保証期間※　お買い上げ日 ＿＿＿年 ＿＿＿月 ＿＿＿日より2年間

2.お客様情報※　ご 芳 名 ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様

ご 住 所 ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

郵便番号：＿＿＿＿＿＿　電話番号：＿＿＿＿＿＿＿＿

3.車両情報※　車　名 ：＿＿＿＿＿＿　車　種：＿＿＿＿＿＿＿＿　グレード：＿＿＿＿＿＿

年　式 ：＿＿＿＿＿＿　車体番号：＿＿＿＿＿＿＿＿

4.商品名　：CMM-MBH8

5.販売店情報※　店　名 ：

住　所

電話番号：

SAMPLE

販売店様へ・・・・・・※印の各項目をご記入の上、お客様にお渡しください。

株式会社ピービー© http://www.pb-jp.com
〒731-0103 広島県広島市安佐南区緑井3-4-29
商品お問い合わせ先： 大阪オフィス support@pb-jp.com
〒561-0841 大阪府豊中市名神口3-7-3
TEL.06-6335-0805 FAX.06-6335-0807